

## 第6次熊野町行政改革大綱実施計画 取組状況報告（令和4年度分）

第6次熊野町総合計画「第4章 基本計画」第6節に定める具体的施策を基礎とし、個別に取組項目を設定したものについて積極的に取り組んだ。

### 1 取組項目の進捗状況

第6次熊野町行政改革大綱に基づく個別取組項目：全64項目

- 基本施策1 【町民参画の推進】 . . . . . 8項目
- 基本施策2 【効率的・効果的な行財政運営の推進】 . . . . . 36項目
- 基本施策3 【スマート自治体への体制整備】 . . . . . 12項目
- 基本施策4 【広域連携の推進】 . . . . . 8項目

全64項目の取組中、54項目については令和4年度の目標を達成、または目標以上の取組実績  
**令和4年度目標値に対する達成率 . . . 84.3%**

基本施策	具体的施策	取組項目	R04 目標値を超える進捗	R04 目標値どおりの進捗	R04 目標値に達しない進捗	特記
1 町民参画の推進	(1) 自治意識の高揚 (2) 住民自治活動の支援 (3) 地域協働の推進 (4) 政策形成過程への町民参画の推進 (5) 町民参画による事業の推進	① 行政協力員会議の開催 ② 職員の地域活動への積極的な参加の推進 ③ 観光まちづくりにつながるシビックプライドの育成 ④ 対話型行政の推進 ⑤ まちづくり協働事業の推進 ⑥ 審議会等における町民の参画推進 ⑦ パブリックコメントの実施 ⑧ 選挙に対する意識啓発	2	5	1	<p>【目標値以上】</p> <p>⑤まちづくり協働事業の推進 R04 目標値：5件→実績：7件</p> <p>⑦パブリックコメントの実施 R04 目標値（累計）：2件→実績：3件</p> <p>【目標値以下】</p> <p>③観光まちづくりにつながるシビックプライドの育成 R04 目標値：60%→実績：30%</p> <p>〈実績内容〉 熊野みらい LABO の創設。個人ベースでの旗振り役、担い手の・参加者の発掘等を行ったが、町内の産業・観光関係団体等との連携を図るまでには至っていない。</p> <p>〈次年度に向けた方針〉 熊野みらい LABO の活動の持続化に向け、県内各種団体との連携・協力体制づくりを図る。</p>
2 効率的・効果的な行財政運営の推進	(1) 持続性を高める行財政運営 (2) 健全な財政運営 (3) 適切な人材の配置と育成	① 町税の収納対策の推進 ② 納税方法の利便性の向上 ③ 保育料の収納率の向上 ④ 住宅使用料等の収納対策の推進 ⑤ 国民健康保険税の収納対策の推進 ⑥ 後期高齢者医療の収納率の向上 ⑦ 介護保険料収納率の維持 ⑧ 下水道受益者負担金の収納率の向上 ⑨ 水道料金及び下水道使用料の収納率の向上 ⑩ 企業誘致の促進 ⑪ 課税客体の適正な把握	8	21	7	<p>【目標値以上】</p> <p>①町税の収納対策の推進 年間差押 R04 目標値：50件→実績：209件 収 納 率 R04 目標値：96.0%→実績：97.46%</p> <p>③保育料の収納率の向上 収納率 R04 目標値：98.73%→実績：99.04%</p> <p>⑤国民健康保険税の収納対策の推進 収納率 R04 目標値：83.60%→実績：84.90%</p>

		<p>⑫ 土地利用計画書の作成</p> <p>⑬ 地球温暖化計画の実施、定期的な見直し、電力料デマンド管理の実施</p> <p>⑭ 総合計画と財政計画を連動した予算編成システムの構築の推進</p> <p>⑮ マネジメントサイクルに基づく事業の改善・見直し</p> <p>⑯ 事業の総点検</p> <p>⑰ 旅費の見直し（特別旅費の実費制、オンライン研修・会議への積極的参加による旅費の削減）</p> <p>⑱ わかりやすい財政情報の提供</p> <p>⑲ 継続的な事業の点検・見直し</p> <p>⑳ 財務書類のマネジメント・ツールとして予算編成や公共施設の適正管理に反映</p> <p>㉑ 適正な契約方式の採用と、工事・業務等の品質を確保</p> <p>㉒ 補助金等の整理・合理化</p> <p>㉓ 職員数適正化の推進（第5次定員適正化計画）</p> <p>㉔ 指定管理者制度の継続</p> <p>㉕ 公共施設等の適正管理</p> <p>㉖ 適正な受益者負担の設定</p> <p>㉗ 公用車の適正配置・稼働率の向上</p> <p>㉘ コスト意識と創意工夫による節減の意識改革</p> <p>㉙ 公共工事のコスト縮減の推進</p> <p>㉚ 上下水道料金の適正化</p> <p>㉛ 経営戦略の見直し及び次期経営戦略の策定</p> <p>㉜ 適切な休暇取得の推進</p> <p>㉝ 職員の意向調査等を基礎資料とした効果的・効率的な組織の構築</p> <p>㉞ 人事考課制度の適切な運営</p> <p>㉟ 計画的・総合的な人材育成</p> <p>㊱ 全庁的な事務処理効率化の推進（職員提案制度）</p>			<p>⑥後期高齢者医療の収納率の向上        収納率 R04 目標値：99.64%→実績：99.99%</p> <p>⑦介護保険料収納率の維持        収納率 R04 目標値：99.47%→実績：99.62%</p> <p>⑧下水道受益者負担金の収納率の向上        収納率 R04 目標値：96.31%→実績：98.30%</p> <p>⑨水道料金及び下水道使用料の収納率の向上        収納率        上水 R04 目標値：98.43%→実績：99.00%        下水 R04 目標値：97.39%→実績：98.23%</p> <p>⑩経営戦略の見直し及び次期経営戦略の策定        下水道事業の法適用開始及び新たな経営戦略を策定。</p> <p>【目標値以下】</p> <p>⑫土地利用計画書の作成        R04 目標値：40%→実績：20%  <b>〈実績内容〉</b>        過去の調査実績を再確認  <b>〈次年度に向けた方針〉</b>        過去の調査実績を基に、現状の再調査を行う。</p> <p>⑭総合計画と財政計画を連動した予算編成システムの構築の推進        R04 目標値：19万円→実績：20万円  <b>〈実績内容〉</b>        災害予防に係る地方債発行が増となり、1人当たりの起債残高も増加した。  <b>〈次年度に向けた方針〉</b>        緊急自然災害防止対策事業債などの災害予防に係る地方債の発行を多く予定しており、微増となる予定であるため、今後の執行に注視し、計画的な財政運営を行う。</p> <p>⑰旅費の見直し（特別旅費の実費制、オンライン研修・会議への積極的参加による旅費の削減）        R04 目標値：50%→実績：40%  <b>〈実績内容〉</b>        特別旅費の支給に関しては検討中  <b>〈次年度に向けた方針〉</b>        特別旅費の支給方法について継続して情報収集・検討を行う。</p> <p>⑳職員数適正化の推進（第5次定員適正化計画）        R04 目標値：164人→実績：153人  <b>〈実績内容〉</b>        計画に応じた採用を行ったが、予定外の退職者により計画値を下回る職員数となった。  <b>〈次年度に向けた方針〉</b>        段階的に定数になるよう退職者等を考慮した職員</p>
--	--	---	--	--	--

						<p>採用を行う。</p> <p>㊸コスト意識と創意工夫による節減の意識改革 R04 目標値：100%→実績：50% 〈実績内容〉 例年のとおり予算編成方針を策定するとともに、予算編成会議において財政推計について説明を行い、財政状況の共有化を図った。 〈次年度に向けた方針〉 予算編成方針での新たな削減手法についての提案はできていないため、検討する。</p> <p>㊹適切な休暇取得の推進 R04 目標値：11.5日→実績：10.6日 〈実績内容〉 週休日等を組み合わせた有給休暇の取得の勧奨を行った。 〈次年度に向けた方針〉 職員が休暇を取得しやすい環境の整備について検討する</p> <p>㊺人事考課制度の適切な運営 R04 目標値：40%→実績：20% 〈実績内容〉 R05年6月からの勤勉手当への人事評価反映に向けて調整を行った。 〈次年度に向けた方針〉 昇給・分限等についても評価を活用できるよう仕組みづくりを進める。</p>
3 スマート自治体への体制整備	(1) スマート自治体の推進 (2) 情報化社会に対応した広報・広聴の推進	<p>① 行政手続きオンライン化</p> <p>② 窓口チェックシートの定期的な見直し</p> <p>③ 窓口アンケートの実施</p> <p>④ 基幹系情報システム標準化・共通化</p> <p>⑤ テレワーク等の推進</p> <p>⑥ 文書保存箱の削減</p> <p>⑦ ペーパーレス化の推進</p> <p>⑧ オープンデータ化の強化</p> <p>⑨ 庁内ネットワーク・システムの最適化</p> <p>⑩ 行政が保有する情報の適切な管理・公開と発信</p> <p>⑪ 政策的な意見・提案の受け入れ</p> <p>⑫ 行政情報の積極的な提供</p>	2	10	1	<p>【目標値以上】</p> <p>⑤テレワーク等の推進 R04 目標：10%→実績：20.50%</p> <p>⑫行政情報の積極的な提供 R04 目標：830件→実績：3,879件</p> <p>【目標値以下】</p> <p>⑦文書保存箱の削減 R04 目標値：330箱→実績：386箱 〈実績内容〉 廃棄数より保存数が上回った。 〈次年度に向けた方針〉 保存・廃棄の基準について職員に周知する。</p>
4 広域連携の推進	(1) 広域事業の推進 (2) 国・県との連携強化	<p>① 広域連携の推進</p> <p>② 適切な廃棄物処理</p> <p>③ 収納率の向上（後期高齢）</p>	1	6	1	<p>【目標値以上】</p> <p>①広域連携の推進 R04 目標：60事業→実績：71事業</p>

		<ul style="list-style-type: none"> <li>④ 消防力・救急体制の強化</li> <li>⑤ 地方分権の推進</li> <li>⑥ 友好都市協定に基づく連携</li> <li>⑦ 豊島区との連携</li> <li>⑧ 県との職員交流（相互派遣等）の継続</li> </ul>				<p>【目標値以下】</p> <p>⑦豊島区との連携 R04 目標値：100%→実績：40%</p> <p>〈実績内容〉 「染井よしの桜まつり」が中止になり、具体的な交流は実施できなかった。令和2年度に寄贈を受けた記念樹については、根付き開花した。</p> <p>〈次年度に向けた方針〉 「染井よしの桜まつり」への参加、「筆まつり」への招待。筆の里工房周辺整備事業における関連事業の検討。</p>
--	--	--	--	--	--	--

## 2 今後の方針

計画どおりに進捗するよう、常に改善を意識して業務に取り組む。

→目標の進捗を超えている項目は、これを維持し、更なる改革を図る。

→目標の進捗に至っていない項目は、次年度以後で目標値に達するよう事務・取組の改善を図る。